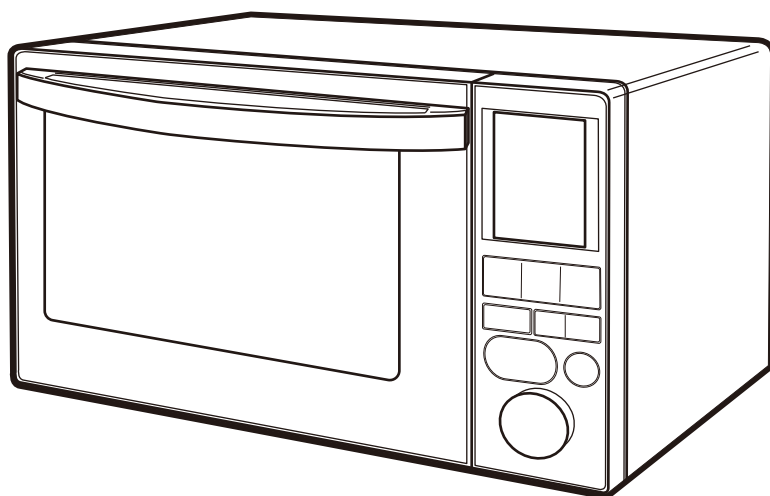


取扱説明書

電子レンジ

品番 **AFR-G18H**



このたびは本製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。本製品は家庭用として作られています。本来の目的以外や、異常な環境下で使用しないでください。故障の原因になります。




もくじ

| | | | |
|------------------|-------|------------------|-------|
| 安全上のご注意 | 1-4 | 使い方(手動モード) | 13-14 |
| 各部の名称 | 4-5 | 加熱時間の目安 | 15 |
| 使用設置場所について | 6 | お手入れと保管 | 16 |
| 電源周波数について | 7 | 修理・サービスを依頼いただく前に | 17 |
| 加熱のしくみ | 7 | アフターサービス | 18 |
| 使用できる容器・使用できない容器 | 8 | 仕様 | 18 |
| 使い方(ワンタッチあたため) | 9 | 保証書(持込修理) | 19 |
| 使い方(自動メニュー) | 10-12 | | |





- イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.
- 本製品は一般家庭用です。業務用などに使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることにより生じることが想定される内容を〔危険〕〔警告〕〔注意〕の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。







| | |
|--|------------------------------------|
|  危険 | 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。 |
|  警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
|  注意 | 人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

絵表示の例

-   このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
-   このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

※お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでもお読みいただける場所に必ず保管してください。

危険

- | | |
|--|---|
|  スプレー缶など、引火性のものを 本体の近くに置かない ●爆発や火災の原因になります。 |  修理技術者以外の人は絶対に分解や修理・ 改造をしない ●発火したり、異常動作したりしてケガをする 分解禁止 恐れがあります。 |
|  本体に水や飲み物をかけない ●内部に水分が入ると、感電や故障の原因になり ます。すぐに使用を中止し、お買上げの販売店 まで点検をご依頼ください。 |  庫内の食品から発煙・発火したときは、 ドアを開けない ●ドアを開けると空気が入り、勢いよく燃えます。 ●次の処置をしてください。 ①ドアを閉めたまま、「とりけし」ボタンを押す。 ②電源プラグを抜く。 ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するの を待つ。 ④鎮火しない場合は、水または消火器で消火して ください。 ●処置後は、そのまま使用せず、必ず販売店に点検 を依頼してください。 |
|  可燃物の近くで使用しない ●カーテンや衣類、ティッシュペーパーなどの 可燃物の近くで使用しないでください。火災 の原因になります。 | |
|  乾燥など他の用途に使用しない ●過熱して発火する恐れがあります。 | |

警告

- | | |
|--|---|
|  AC100V以外では使用しない ●火災・感電の原因になります。 |  本体の上に乗ったり、上に水など液体の入った 容器を置いたり、上に物を置いたまま使用 したりしない ●熱で焦げて変形する恐れがあります。 ●ドアの開閉で落下し、ケガをする恐れが あります。 ●水がかかると、電気部品の絶縁が悪くなり、 感電・漏電・火災の原因になります。 |
|  本体が転倒、落下した場合は、外部に損傷が 無くても使用しない ●感電・電波漏れの恐れがあります。 販売店または当社サービスセンターに ご相談ください。 | |

安全上のご注意

警告

| | |
|---|---|
|  <p>湿気が多いところや水のかかるところへの設置は避け、水をかけたり丸洗したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ショート・感電の恐れがあります。 <p>水ぬれ禁止</p> |  <p>ドアやドアの隙間が破損した場合は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必ず修理を依頼し、修理後に使用してください。電波が漏れ、人体に障害を与える恐れがあります。 |
|  <p>次のような場所、環境では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水がかかったり湿度が高かったりするところ ●高温のところ ●ホコリや金属片の多いところ ●油・引火性のものがあるところ |  <p>庫内やドアに油・食品カス・煮汁などを付着させたまま放置したり加熱したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●さび・発火・発煙などの原因になります。 ●付着した場合は、本体が冷めてから必ず拭き取ってください。 |
|  <p>燃えやすいもの、熱に弱いものを近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●焦げや火災の原因になります。じゅうたん・畳・テーブルクロスの上に置いたり、カーテンなどの近くに置いたりしないでください。 |  <p>電源プラグを本体で押し付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●損傷・過熱・火災の原因になります。 |
|  <p>庫内に何も入れずに加熱しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異常高温になり、ヤケド・故障の原因になります。 |  <p>電源コードは、排気口や温度の高いところに近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因になります。 |
|  <p>運転したまま放置するなど、使用中はその場を離れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過熱により食品が焦げて、火災・故障の原因になります。 |  <p>電源コードを持って本体を引きずらない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障・事故の原因になります。 |
|  <p>必要以上に加熱しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過熱により発火の恐れがあります。 |  <p>梱包用ポリ袋などは、幼児の手の届かないところに保管する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●かぶるなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の原因になります。 |
|  <p>密閉された容器を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●爆発・火災の原因になります。 ●密閉容器を使用する場合は、容器の表示に従ってください。 |  <p>食品などの出し入れの際は必要に応じて市販のミトンやふきんなどを使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヤケドの恐れがあります。 |
|  <p>アルミ箔・金属製食器や金銀箔などの装飾のある食器などを入れて加熱しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火花が出て発煙・発火の原因になります。 |  <p>缶詰、ビン詰、袋入りのレトルト食品は容器に移してから加熱する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発火・破裂・ケガ・ヤケドの原因になります。 ●鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま、加熱しないでください。発火することがあります。 <p>※レトルト食品などの容器によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。</p> |
|  <p>卵や密閉容器など完全に密閉されたものは、レンジで加熱しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●破裂・爆発してケガ・ヤケドの恐れがあります。 ●卵は殻を割り溶いてから加熱し、ゆで卵を作ったりあたため直したりしないでください。 |  <p>容器の取り出しや、食品ラップを外すときは注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●容器が熱くなっていたり、蒸気が一気に出たりしてヤケドをする恐れがあります。 |
|  <p>調理以外の目的で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・ヤケドの原因になります。 |  <p>定格15A以上のコンセントを単独で使用する（延長コード・電源タップ・タコ足配線などの状態で使用しない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。 |
|  <p>お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ケガをする恐れがあります。 <p>プラグを抜く</p> | |

安全上のご注意

⚠ 警告



電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全な場合、感電・火災の原因になります。



乳幼児のミルクのあたためは、仕上がり温度を確認する

- ヤケドの恐れがあります。
- 中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度をご確認ください。



プラグを抜く

異常時は、運転を中止して電源プラグを抜く

- お買上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
- 異常のまま運転を続けると故障・感電・火災の原因になります。
- ドアまたは扉シール面に損傷がある場合は、修理技術者による修理が行われるまで使用しないでください。

⚠ 注意



吸排気口や隙間にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない

- 感電や異常動作して、ケガや故障する恐れがあります。
- 異物が入ったときは、使用を中止しお買上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。



お子さまだけで使用させない

- 誤操作による危害を認識し安全に操作できないお子さまだけでは使用させないでください。必ず、大人の方と一緒にご使用ください。感電・ケガ・ヤケドの原因になります。



吸気口・排気口をふさいだり、布やカバーをかけて使用しない

- 故障の原因になります。



ドアに無理な力や衝撃を加えたり、物をはさんだまま使用しない

- 本体が倒れて、変形し電波漏れやケガの原因になります。
- 電波漏れによる障害が起きる恐れがあります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない

- 重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



運転中に電源プラグをコンセントから抜かない

- 感電・ショート・故障の原因になります。



食品や飲み物は必要以上に加熱しない

- 食品は発煙・発火の恐れがあり、飲み物は突然沸騰してヤケドの恐れがあります。
- 特に少量の加熱時、油脂の多い食品、液体、芋などの根菜類、ミックスベジタブルなどの加熱にはお気をつけください。
- ペースト状の食品は加熱前によくかき混ぜてください。(加熱後は、少し時間を置いてから取り出してください。)
- 加熱中は時々庫内をご確認ください。



禁止

濡れた手で、電源プラグやコンセントに触らない

- ヤケド・感電・ケガの恐れがあります。



使用前に、梱包材は全て取り除く

- 加熱中に発火し、火災・ヤケドの原因になります。



容器のフタや栓は外し、膜や殻のある物は切れ目や割れ目を入れて加熱する

- 容器や殻が破裂して、ヤケド・ケガ・故障の恐れがあります。



加熱が終わったら、その都度お手入れする

- 食材のカスなどが残ったまま加熱を続けると、発火する恐れがあります。



「使用できる容器、使用できない容器」を確認する

- 容器によっては、焦げたり燃えたりして使用できないものがあります。「電子レンジ使用可」の表示があることをご確認ください。
- 食品をプラスチックまたは、紙の容器に入れて加熱しているときは、発火の可能性があるため電子レンジから目を離さないでください。

安全上のご注意

⚠ 注意



アース線を確実に取り付ける
●故障や漏電のときに感電を防止できます。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たず
に必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
●感電・ショートして発火する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは
取り除き、電源プラグの刃は乾いた布でよく拭く
●電源プラグとコンセントの間にホコリや
水分が付着し、発火(トラッキング現象)する
恐れがあります。
●火災の原因になります。

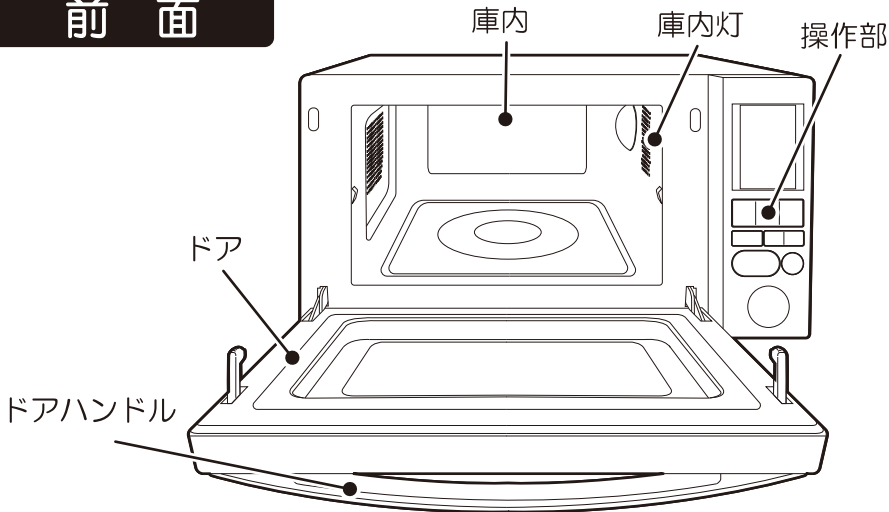


プラグを
抜く

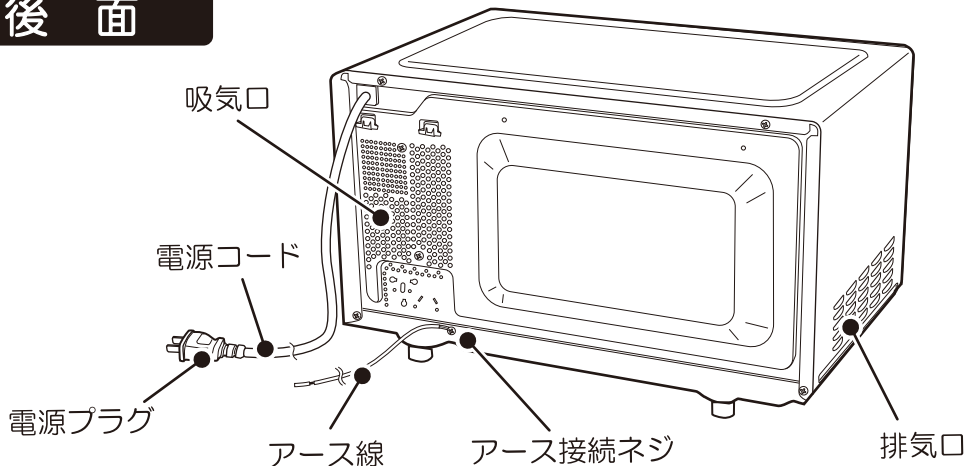
長時間使用しないときは、電源プラグを
コンセントから抜く
●ケガやヤケド、絶縁劣化による感電・
漏電火災の原因になります。

各部の名称

前面



後面



●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

各部の名称

操作部

あたため時間/自動メニュー/ 仕上がり設定/解凍重量 表示

時間や自動メニューでの仕上がりの強弱の設定、重量を表示します。

出力切替 ボタン

手動モードであたためる場合、押すごとに、「強」「弱」「解凍」「煮込み」と出力が切り替わります。※地域によって出力が異なります。「強」「弱」「煮込み」→13ページ「解凍」→14ページ

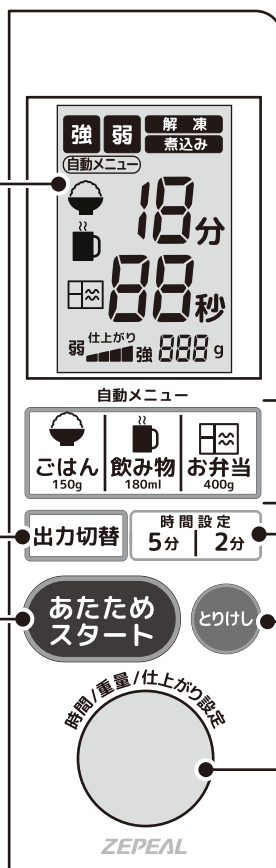
あたためスタート ボタン

あたためスタート

加熱を開始するときに使用します。加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと加熱を再開します。

ワンタッチあたため

ボタンを押すと自動でレンジ加熱を行います。→9ページ



自動メニュー ボタン

自動メニュー「ごはん」「飲み物」「お弁当」のあたためを行う。「ごはん」→10ページ「飲み物」→11ページ「お弁当」→12ページ

時間設定 ボタン

手動モードであたためるときは時間設定に使用します。

→13ページ

とりけし ボタン

設定を間違えたときや加熱を途中で中止したいときに使用します。

時間調節/重量調節/ 仕上がり設定 ダイヤル

自動メニューでの仕上がりの強弱の設定や重量調節、時間設定などに使用します。

仕上がりの強弱の調節



右にダイヤルを回す
仕上がり強くする
左にダイヤルを回す
仕上がり弱くする

自動電源オフ機能

- 加熱後、しばらく何もしないと、自動電源オフ機能がはたらき、待機状態になります。ドアを開閉することで電源が入ります。電源が入ると表示部に「0」と表示します。

保護装置について

- 連続使用したり、水分の少ない食材を加熱したりすると、過熱による故障を防ぐための保護装置がはたらい、運転が自動停止することがあります。保護装置がはたらいたときは、しばらくお待ちください。温度が下がり、保護装置が解除され再び使用できます。

使用設置場所について



お願い

設置の際は、下記の距離を確保する

- 隙間が少ない場所で使用すると、壁などが過熱して発火する恐れがあります。
- 水気・湿気の少ないところで使用する
- 感電・故障の恐れがあります

テレビ・ラジオ・無線機器の近くに置かない

- 本体はテレビ・ラジオ・無線機器（無線LAN）などから4m以上離してください。
雑音・画像の乱れ、通信エラーの原因になります。

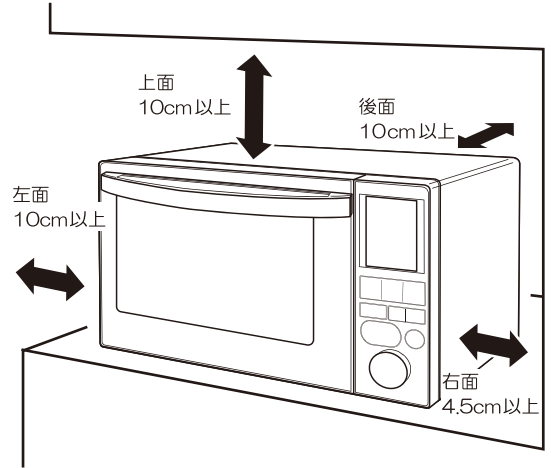
壁との間をあける(下表以上の距離を確保する)

- 排気口や吸気口をふさがないでください。

| 場所 | 上面 | 左面 | 右面 | 前面 | 後面 | 下面 |
|-----------|----|-------------------|-----|------|----|----|
| 離隔距離 (cm) | 10 | 10 (どちらか一方を開放) | 4.5 | (開放) | 10 | 0 |

風通しのよい場所に置く

- 風通しが悪いと吸排気が十分行われず、正常に運転しなくなります。



アース線を取り付ける



お願い



アース接続

アース線を確実に取り付ける

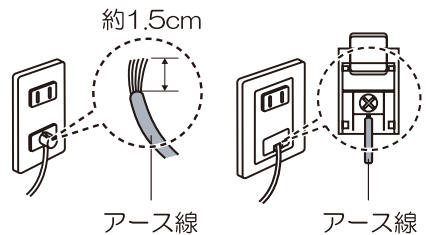
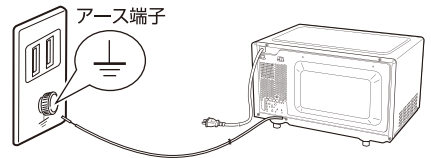
- 故障や漏電のときに感電を防止できます。

- アース端子付きコンセントを使用する場合

- ①アース線が本体のアース端子に、しっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮を約 1.5cm むきます。
- ②アース端子付きコンセントにアース端子をしっかりとつなぎます。

- アース端子がない場合

お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- アース工事（電気工事資格者によるD種接地工事）が必要な設置場所

湿気が多い場所

土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵所など。

水気のある場所（漏電遮断器も設置必要）

水を扱う場所、水滴の飛び散る場所、地下室など結露の起きやすい場所。



注意

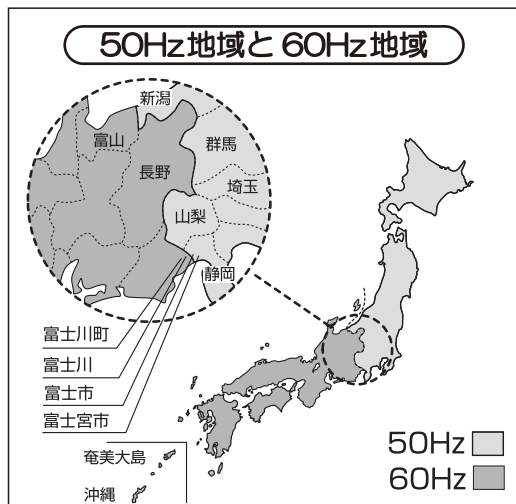
ガス管や水道管、電話機や避雷針には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

電源周波数について

この製品の出力は電源周波数 50Hz または 60Hz によって変わります。

| | 強 | 弱 | 解凍 | 煮込み |
|------|------|------|------|------|
| 50Hz | 500W | 400W | 200W | 120W |
| 60Hz | 600W | 500W | | |

- 引越などで電源周波数が変わりますと、出力も変わります。
- 引越などで移転先の電源周波数が不明なときは、お近くの電力会社にご相談ください。
- 必ずアース線を取り付けてください。
- 電源周波数は東日本では50Hz、西日本では60Hzです。（下図参照）



静岡県での50Hzと60Hzの境界

- 50Hz地域
富士市、富士宮市以東
- 60Hz地域
静岡市清水区、由比町以西

加熱のしくみ

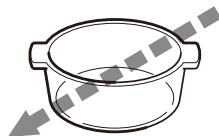
電波（高周波）で食品を内と外から同時に加熱します。

- 電波（高周波）が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に運動が起きます。この運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

電波の特性



水分のある食品は吸収されます。







耐熱性のあるガラス容器、陶器などは透過します。


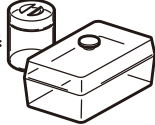

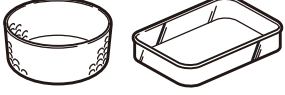

使用できる容器・使用できない容器

●使用できない容器は発火や故障の原因になるので使用しないでください。

○ 使用できる容器

| | |
|---|---|
| <p>耐熱プラスチック容器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●耐熱温度が140℃以上、または「電子レンジ使用可能」の表示があるものが使用できます。 ※油分の多い食品などは高温になるため使用しないでください。 ※ふたは熱に弱いものがありますのでご注意ください。 |
| <p>耐熱ガラス容器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●容器本体または容器の説明書に記載されている表示をご確認ください。 ※急冷・急熱すると破損することがあります。 ※強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使用しないでください。 |
| <p>陶磁器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●普段お使いの陶磁器はほとんど使用できます。 ※色絵やヒビ、金銀のある陶磁器は火花が飛んだり容器を傷めたりすることがありますので使用しないでください。 ※急冷・急熱すると破損することがあります。 |
| <p>耐熱性のあるラップ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●耐熱温度が140℃以上のものが使用できます。 ●ラップをするときは、容器にぴったりと、食材の部分はゆとりと余裕をもって覆ってください。 ※油分の多い食品などは高温になるため使用しないでください。 |

× 使用できない容器

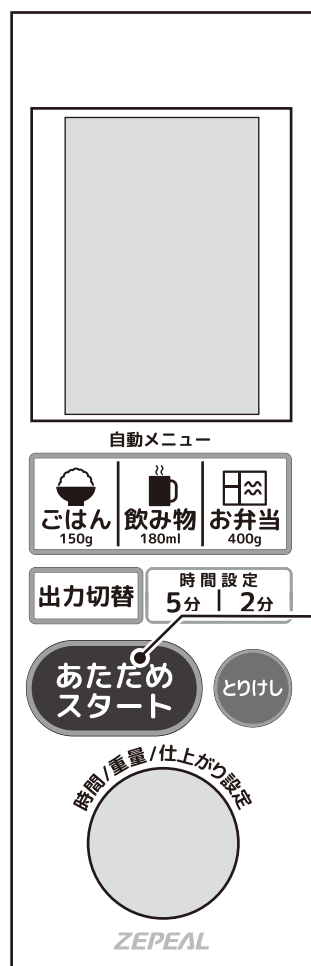
| | |
|--|--|
| <p>耐熱性でない一般ガラス・強化ガラス容器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●耐熱表示のないガラスは使用しないでください。 ●強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示がないものは使用しないでください。 |
| <p>耐熱性でないプラスチック容器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●耐熱温度140℃未満のプラスチックは使用しないでください。 ●スチロール・ポリエチレン・メラニン・フェノール・ユリア樹脂などは使用しないでください。 |
| <p>漆器・紙・木・竹製などの容器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●漆器は塗りが剥げたり、ヒビ割れたりするので使用しないでください。 ●紙・木・竹製品も焦げたり燃えたりするので使用しないでください。 |
| <p>金属製容器</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●ホーロー・金属カップなどは使用しないでください。 ●缶詰やレトルト容器（材料にアルミ箔などを使用した容器）は別の容器などに移して加熱してください。 ※レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。 |
| <p>アルミホイル</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●電波を反射し、調理ができません。 ※レトルト食品によっては調理できる場合があります。食品の表示に従ってください。 |

※上記に記載のない容器の使い方については、容器の製造メーカーにご相談ください。

使い方（ワンタッチあたため）

簡単な操作で食品をあたためる

●ワンタッチあたため：500W相当（50Hz/60Hz）



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

2 **あたためスタート** を押す

設定できる時間

- ボタンを1回押すと30秒のタイマーが働きます。ボタンを押すごとに30秒追加され、最大5分までタイマー時間を設定できます。（30秒→1分→1分30秒→…5分）
- あたためスタートから約3秒以内に設定してください。加熱を開始すると操作できなくなります。
- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。



できあがり（加熱終了）

- お知らせブザーが鳴り庫内灯が消灯します。
※加熱終了後ドアを開けないと、「0」が点滅し約1分ごとにお知らせブザーが鳴ります。
約5分後、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、しばらくの間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 庫内が熱くなっていますので注意して食品を取り出してください。

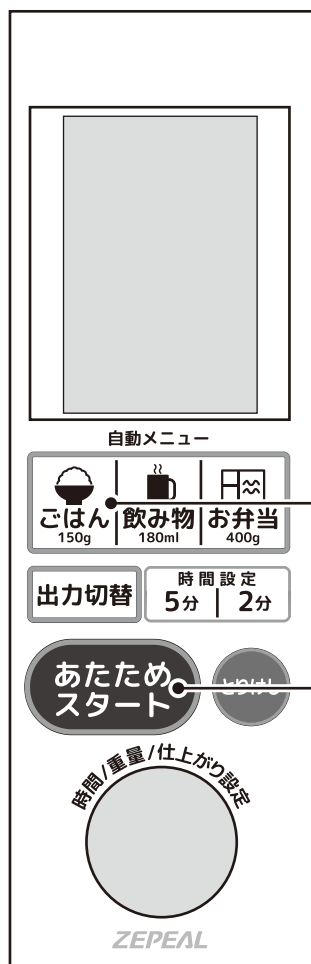


- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約5分以内にドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと残りの加熱を再開します。約5分を経過すると待機状態になります。

使い方（自動メニュー）

ごはんをあたためる

- 一度に加熱できる分量：約150～500g（1～2人分）
- ラップをするとしっとりした仕上がりになり、ラップをしないと水分を飛ばし気味の仕上がりになります。お好みに合わせて調節してください。
- ラップをする場合は、破裂の恐れがあるためゆったりと覆ってください。



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

2 を押す

- 加熱時間が表示されます。

仕上げを調節したいとき

仕上げ調節は4段階



左ヘダイヤルを回す
仕上げを弱くする。



右ヘダイヤルを回す
仕上げを強くする。

3 を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。



できあがり（加熱終了）

- お知らせブザーが鳴り庫内灯が消灯します。
※加熱終了後ドアを開けないと、「0」が点滅し約1分ごとに
お知らせブザーが鳴ります。
約5分後、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、しばらくの間
ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 庫内が熱くなっていますので注意して食品を取り出してください。

加熱が足りないとき

レンジ手動モードで様子を見ながら加熱してください。
（13ページ参照）

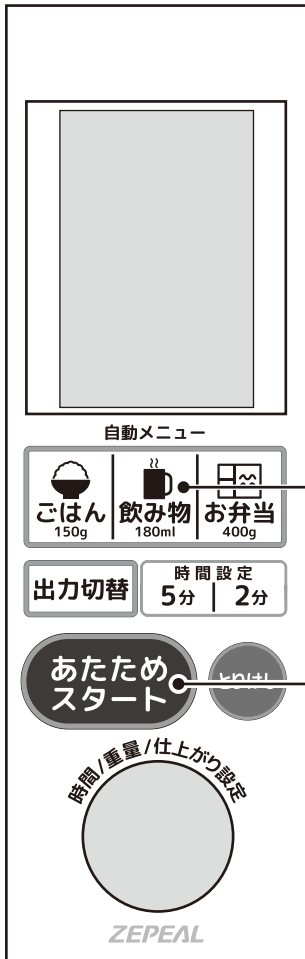


- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約5分以内にドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと残りの加熱を再開します。約5分を経過すると待機状態になります。

使い方（自動メニュー）

飲み物をあたためる

- 一度に加熱できる分量：1～4杯
- 2杯以上を一度に加熱するときは分量をそろえてください。
- コップは低めの広口容器を使用し、容器の8分目まで入れてください。
- 加熱前・加熱後は、必ずスプーンなどでよくかき混ぜてください。



1 食品を庫内に入れる

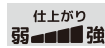
- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

2 を押す

- 加熱時間が表示されます。

仕上がりを調節したいとき

仕上がり調節は4段階



左ヘダイヤルを回す
仕上がりを弱くする。



右ヘダイヤルを回す
仕上がりを強くする。

3 を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。

できあがり（加熱終了）

- お知らせブザーが鳴り庫内灯が消灯します。
- ※加熱終了後ドアを開けないと、「0」が点滅し約1分ごとに
お知らせブザーが鳴ります。
約5分後、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、しばらくの間
ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 庫内が熱くなっていますので注意して食品を取り出してください。

加熱が足りないとき

レンジ手動モードで様子を見ながら加熱してください。
（13ページ参照）

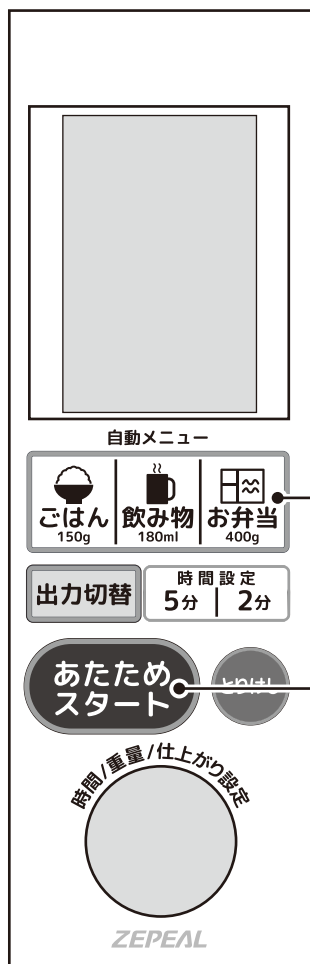


- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約5分以内にドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと残りの加熱を再開します。約5分を経過すると待機状態になります。

使い方（自動メニュー）

お弁当をあたためる

●一度に加熱できる分量：400～600g



1 食品を庫内に入れる

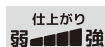
- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

2 を押す

- 加熱時間が表示されます。

仕上がりを調節したいとき

仕上がり調節は4段階



左ヘダイヤルを回す
仕上がりを弱くする。



右ヘダイヤルを回す
仕上がりを強くする。

3 を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。



できあがり（加熱終了）

- お知らせセブザーが鳴り庫内灯が消灯します。
※加熱終了後ドアを開けないと、「0」が点滅し約1分ごとに
お知らせセブザーが鳴ります。
約5分後、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、しばらくの間
ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 庫内が熱くなっていますので注意して食品を取り出してください。

加熱が足りないとき

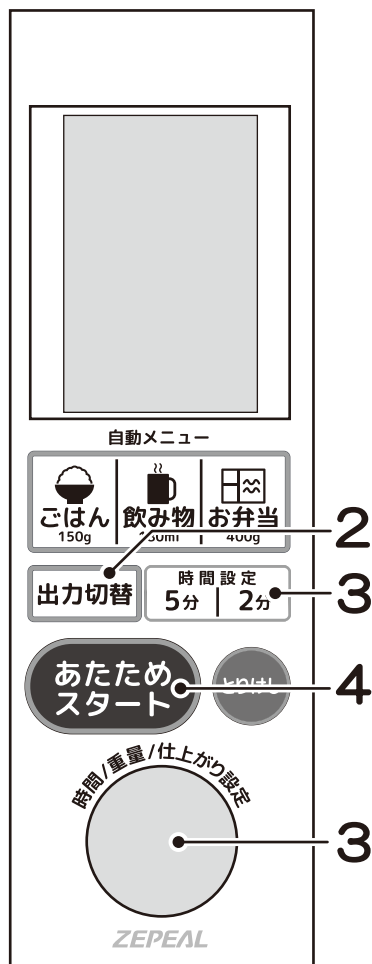
レンジ手動モードで様子を見ながら加熱してください。
（13ページ参照）



- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約5分以内にドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと残りの加熱を再開します。約5分を経過すると待機状態になります。

使い方（手動モード）

手動モードであたためる



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

2 **出力切替** を押して出力を選ぶ

- 押すごとに、出力が切り替わります。
- 地域によって、出力が異なります。（7ページ参照）



3 ダイヤルを回すか、**時間設定 5分 | 2分** を押して時間を設定する

設定できる時間

0秒～10分までは、10秒刻みで10分～15分までは30秒刻み。

4 **あたためスタート** を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。



できあがり（加熱終了）

- お知らせブザーが鳴り庫内灯が消灯します。
※加熱終了後ドアを開けないと、「0」が点滅し約1分ごとに
お知らせブザーが鳴ります。
約5分後、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、しばらくの間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 庫内が熱くなっていますので注意して食品を取り出してください。

「強」・「弱」

50Hz : 「強」500W 「弱」400W
60Hz : 「強」600W 「弱」500W

- ごはん、おかずのあたために使用します。加熱しすぎないように様子を見ながら加熱してください。
- 市販の冷凍食品などのあたためには、包装に記載された出力、時間を目安に加熱してください。

煮込み 120W

- カレー、シチューなどを煮込むときに使用します。
低出力でじっくりと加熱します。

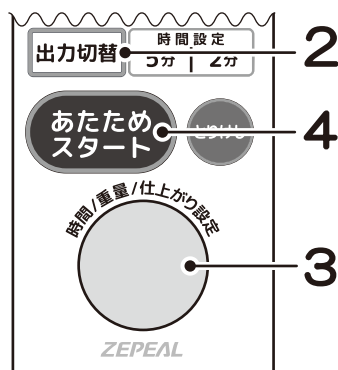


- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約5分以内にドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと残りの加熱を再開します。約5分を経過すると待機状態になります。

使い方（手動モード）

解凍する

- 一度に加熱できる分量：100～500g
- 解凍：200W相当（50Hz/60Hz）



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

2 「出力切替」を押して「解凍」を選ぶ

- 押すごとに、出力が切り替わります。
- 地域によって、出力が異なります。（7ページ参照）

強 → 弱 → 解凍 → 煮込み

3 ダイヤルを回して重量を設定する

- 解凍する食品の重さを設定してください（時間は自動設定されます）。
- 重さは、50g単位で設定できます。150gの場合、最初は100gに合わせて様子を見ながら解凍してください。

4 「あたためスタート」を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、解凍を開始します。

できあがり（加熱終了）

- お知らせブザーが鳴り庫内灯が消灯します。
※加熱終了後ドアを開けないと、「0」が点滅し約1分ごとにお知らせブザーが鳴ります。
約5分後、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。
- 加熱終了後は電気部品を冷却するため、しばらくの間ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。
- 庫内が熱くなっていますので注意して食品を取り出してください。

解凍のポイント

- 肉、魚などを解凍するときに使用します。
- 市販の冷凍食品などのあたためには、包装に記載された出力、時間を目安に加熱してください。
- ※解凍が足りない場合は、「解凍」で様子を見ながら加熱してください。

冷凍庫から出したばかりの凍った食品を使用する

- 解凍前に常温で放置すると、食品から汁が出て風味を損なう恐れがあります。

魚など厚みのある食品は、向きや上下を変えながら解凍する

ラップやふた、飾りは外して解凍する

- 発泡トレイのまま解凍できます。
- ラップなどに包んで冷凍した食品は、平らな皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

加熱調理を行った後は、庫内を十分に冷ましてから解凍する

- 加熱調理を行った後に解凍をするときはドアを開け十分に庫内を冷やしてから解凍してください。

食品を冷凍するとき…

- 食品は、同じ種類や大きさにそろえてください。
- 1回分を約200gずつに分け、厚さを2～3cmに均一にしてください。
- エビなどを冷凍するときは、重ならないようにして冷凍します。



- 解凍時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 発泡トレイを使用しない場合は、平らな皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。
- 加熱調理を行った後に解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内を冷やしてから解凍してください。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約5分以内にドアを閉め「あたためスタート」ボタンを押すと残りの加熱を再開します。約5分を経過すると待機状態になります。

加熱時間の目安

あたため時間を設定するときの目安を表示しています。(出力500Wの場合)

あたため前の食品の温度や種類などによって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。

※食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらも参考にしてください。

| 常温・冷蔵食品 | | | | 冷凍食品 | | | |
|-----------|-----|-----------|---------|------------|-----|-----------|---------|
| 食品名 | ラップ | 分量(約) | 加熱時間(約) | 食品名 | ラップ | 分量(約) | 加熱時間(約) |
| ごはん | — | 1杯(150g) | 1分30秒 | ごはん | ○ | 1杯(150g) | 3分 |
| 煮物 | ○ | 200g | 2分30秒 | カレー・シチュー | ○ | 200g | 6分 |
| みそ汁・スープ | ○ | 1杯(180ml) | 2分30秒 | ハンバーグ | ○ | 2個(180g) | 5分 |
| カレー・シチュー | ○ | 200g | 3分 | まんじゅう | ○ | 1個(65g) | 1分30秒 |
| 焼きそば | — | 1人分(200g) | 2分30秒 | シューマイ | ○ | 10個(160g) | 4分 |
| ハンバーグ | — | 2個(180g) | 2分 | 温野菜 | | | |
| 天ぷら・フライ | — | 1人分(200g) | 2分30秒 | | | | |
| 焼きとり | — | 6本(180g) | 2分 | じゃがいも | ○ | 200g | 5分 |
| チャーハン・ピラフ | — | 1人分(250g) | 2分30秒 | にんじん | ○ | 150g | 3分30秒 |
| 牛乳 | — | 1杯(180ml) | 1分30秒 | 白菜・キャベツ | ○ | 200g | 2分30秒 |
| コーヒー | — | 1杯(180ml) | 1分30秒 | ほうれん草 | ○ | 200g | 2分 |
| お酒(熱燗) | — | 1杯(180ml) | 1分30秒 | かぼちゃ | ○ | 400g | 4分30秒 |
| 肉まん・あんまん | — | 1個(65g) | 1分30秒 | ブロッコリー | ○ | 200g | 2分30秒 |
| お弁当 | ○ | 1個(400g) | 2分30秒 | | | | |



注意

- 冷凍野菜(ミックスベジタブルなど)は、少量での加熱はしないでください。発火・発煙の恐れがあります。
- 100g未満の食品を加熱するときは、「解凍」で様子を見ながら加熱してください。加熱しすぎると、発火・発煙の恐れがあります。
- 飲み物は、加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、ヤケドすることがあります。そのまま20~30秒ほど置いてから取り出してください。

お手入れと保管

定期的に清掃し、庫内の汚れ(食品などのカス)を取り除いてご使用ください。
電子レンジが清潔な状態でないと、表面の損傷により機器の寿命へ悪影響を及ぼし、危険な状態になる可能性があります。



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●感電・ケガをする恐れがあります。



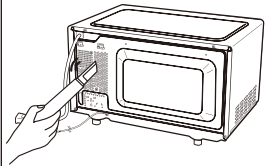
本体や庫内に水をかけない

●電気絶縁が悪くなり、感電・ショート・火災の原因になります。

庫内が冷めてからお手入れする

●使用後すぐは庫内が熱くなっているため、ヤケドの恐れがあります。

お手入れについて

| | | |
|------------|---|---|
| 電源プラグ |  | 長時間ご使用になると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。 |
| 本体 |  | 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をふきんに含ませて拭き取っていただくと、汚れが取れやすくなります。また、台所用中性洗剤を使用した場合は、水を含ませたふきんで完全に拭き取った後、さらに乾いたふきんで拭いてください。 |
| 庫内 |  | 固く絞ったふきんで拭いてください。食品などのカス・油汚れなどが付いた状態で使用すると、食品などのカスが燃えたり焦げたりすることがあります。長い間放置すると、通常より早く傷みます。金属たわしなどは使用しないでください。 |
| ドア |  | 固く絞ったふきんで拭いてください。 台所用中性洗剤を使用した後は、十分に拭き取ってください。 |
| 吸気口 排気口 |  | 柔らかい乾いたふきんで軽く拭いてください。ホコリが吸気口などに入り込んでいる場合は、掃除機のノズルなどを使用してホコリを吸い取ってください。 ※月に1度は、掃除機でお手入れしてください。吸気口・排気口にホコリがたまっていると、故障の原因になったり、機能が低下したりして十分に性能を発揮できません。 |

※水や中性洗剤以外では拭かないでください。(樹脂や塗装部分に変色、変質する恐れがあります)

《保管について》

●保管の前は、必ずお手入れを行ってください。

●お手入れ後、梱包ケースに入れるかポリ袋を被せて、湿気の少ない場所に保管してください。

修理・サービスを依頼いただく前に

故障かなと思ったときは、次のことを調べていただいた上、異常がある場合は使用を中止し故障や事故の防止のため必ず販売店または当社サービスセンターへご相談ください。

| こんなとき | お確かめください |
|----------------------------------|--|
| 電源が入らない・運転しない | <ul style="list-style-type: none"> ●電源が正しく接続されていますか？ ●停電ではありませんか？ ●ご家庭の配電盤のブレーカーが切れていませんか？ ●加熱中にドアを開閉しませんでしたか？ |
| 加熱中に「カチカチ」と音がする | <ul style="list-style-type: none"> ●機械のスイッチ切替音です。故障ではありません。 |
| 加熱中または加熱終了後に「ブーン」と音がしたり、しなかったりする | <ul style="list-style-type: none"> ●本体内部の冷却ファンが回っている音です。 ●レンジ加熱終了後も冷却ファンが回りますが、故障ではありません。 |
| 火花が出る | <ul style="list-style-type: none"> ●金粉、銀粉などの飾りの付いた容器を使用していませんか？ ●金属容器やアルミホイルを使用していませんか？ ●庫内の壁にアルミ箔や金属製のものが触れていませんか？ |
| 煙が出たり異臭がしたりする | <ul style="list-style-type: none"> ●庫内やドアに、食品カスや煮汁などの液体・油が付いていませんか？ |
| ドアがくもり水滴が落ちる | <ul style="list-style-type: none"> ●食品から出た水分や水蒸気によるもので、故障ではありません。 |
| 何も表示していない | <ul style="list-style-type: none"> ●ドアを閉めてしばらくすると自動的に待機状態になります。 (自動電源オフ機能) →ドアを開閉して、「O」表示が出てから操作してください。 |
| ボタンを押しても何も反応がない | <ul style="list-style-type: none"> ●表示部は「O」を表示していますか？ →自動電源オフ機能がはたらいっている場合はドアを開閉し「O」表示が出てから操作してください。 |
| 食品があたたまらない | <ul style="list-style-type: none"> ●金属容器やアルミホイルを使用していませんか？ |
| 運転中に「ジー」という音がする | <ul style="list-style-type: none"> ●動作音で故障ではありません。 |

上記の処置をしても直らなかった場合は、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。

●修理技術者以外の方は絶対に分解や修理・改造をしないでください。

発火したり、異常動作したりしてケガをする恐れがあります。

※修理には特殊な技術が必要です。

アフターサービス

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、まずはお買上げの販売店へご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
 - ②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
 - ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
 - ④本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。
- ★個人情報の取り扱いについて
株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り、第三者への開示または提供は致しません。

仕 様

| | |
|-----------------|---------------------|
| 種類 | 電子レンジ |
| 型番 | AFR-G18H |
| 庫内容量(約) | 18L |
| 定格電圧 | AC100V |
| 定格周波数 | 50/60Hz |
| 定格消費電力 | 900/1200W (50/60Hz) |
| 定格高周波出力 | 500/600W (50/60Hz) |
| 発振周波数 | 2450MHz |
| 加熱室有効寸法(約) | 幅315×奥行329×高さ180mm |
| 外形寸法(約) | 幅470×奥行347×高さ282mm |
| 製品質量(約) | 13.2kg |
| 電源コード長(約) | 1.4m |
| 区分名 | A |
| 電子レンジ機能の年間消費電力量 | 60.1kWh/年(50/60Hz) |
| 年間待機時消費電力量 | 0kWh/年(50/60Hz) |
| 年間消費電力量 | 60.1kWh/年(50/60Hz) |

- ※奥行の寸法にドアハンドルは含まれていません。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による値を表示しています。
 - 区分名は省エネ法に基づき、機能、加熱方式、及び庫内容積の違いで分かれています。
 - 製品の品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

ZEPEAL  株式会社 **電響社**

サービスセンター (製品の使い方や修理などに関するお問合せ)

☎:0120-070-440 [受付時間] 10:00~12:00・13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く)

住所:〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号(電響社サービスセンター) FAX:075-681-0886

Ver.1.1